

令和3年度 地方創生推進交付金事業 効果検証シート

事業名	新たな人の流れ創出プロジェクト
担当部局課名	企画部地域政策課

1. 事業概要等

事業を企画した目的及び事業の概要	本事業は、地方移住に関心のある都市住民等に対して、移住・P R体験や移住定住促進イベント等を通じて鹿児島県の多様な魅力を県と連携して情報発信し、移住者・定住者の拡大を図るための新たな支援や相談体制の充実に努め、また移住・定住に至らないものの、特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大に向けた取組を推進することを目的としています。			
	令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施予定だった体験研修のイベントを中止したこと等に伴い事業内容の変更がありました。コロナ禍に対応した形で、体験研修をオンライン移住ツアーに変更するなど各種事業を継続実施することで、効果的なPR活動に取り組んできました。			
交付額	792,000 円	交付対象事業費	1,584,000 円	
事業始期年月	令和3年4月1日	事業終期年月	令和4年3月31日	
霧島市ふるさと創生総合戦略との関係性	基本目標	I 訪れたいまち		
	関連施策	I -①I・J・U“移住天国霧島”魅力倍増計画		

2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）

設定した目標値の根拠	【KPI③】移住プロモーション活動による相談件数 ・移住プロモーション活動による相談件数の増加は、移住PR事業の継続的な取組の進捗状況を表し、事業成果を図ることができる指標である。				
	※【KPI①】市町村の相談窓口を通じた県外からの移住者数、【KPI②】県内に安定した地域おこし協力隊員数は、県の設定のため省略				
	指標	達成状況	R 2 実績値	R 3 実績値	目標値
KPI①	市町村の相談窓口を通じた県外からの移住者数				
KPI②	県内に安定した地域おこし協力隊員数				
KPI③	移住プロモーション活動による相談件数	達成	539	743	550
KPI④					

鹿児島県のKPI

3. 本事業の地方創生への効果

事業効果
地方創生に非常に効果的であった

【凡例：選択肢】

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

4. 実績値を踏まえた今後の事業展開の方針

今後の事業展開の方針	対象事業が総合戦略の推進に及ぼした影響及び今後の事業展開方針の理由
事業の継続	<p>令和3年度については、地域の魅力を実際の移住者がリポーターとなり参加者へ発信するオンライン移住ツアーの実施や、本市へ実際に移住し起業・就農した方の生活ぶりを紹介する移住ガイドブックの作製により、本市の優れた生活環境を広くPRすることができました。これらの取組により、移住定住の促進や「関係人口」の創出・拡大に向けた取組を推進することに繋がっています。</p> <p>今後については、これまでの効果を検証し、民間企業、国・県等の関係機関と連携を図りながら、本市の強みを生かした移住体験ツアーやオンライン移住イベントを開催するなど、効果的に事業を進めます。</p>

【凡例：選択肢】

①	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
②	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる）
③	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））
④	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した））
⑤	事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））

移住・PR体験事業

●事業概要

この事業は、本市のすばらしい風土を知っていただくとともに、稲刈り、なし狩り、有機野菜収穫作業、陶芸体験などの体験をとおして、移住を促進することを目的とする事業である。また、移住を検討されている方々へ本市の魅力を伝えるため、各種媒体を通じた広告等により、本市を全国に広くPRし、移住者向けの情報提供を積極的に行うものである。

●実績

役務費 広告料 71万5千円

1. 東京都 都営地下鉄浅草線及び三田線車内 広告 66万円

- ・種類 妻面ポスター B3
浅草線（3編成）24枚
連結ステッカー タテ35cm×ヨコ35cm
三田線（3編成）15枚
- ・期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日
- ・都営浅草・三田線を選択した理由
 - ①三田線は、ビジネスの中心である都心と、大規模集合住宅（マンション）が密集するベッドタウンのある「高島平」とを結ぶ路線であるため、移住など検討している人々にPR効果の高い広告プロモーションが行える。
 - ②浅草線は、神奈川・千葉の巨大なベッドタウンと都心とを結ぶ通勤・通学の動脈になっているため、三田線同様、移住などを検討している人々にPR効果の高い広告プロモーションが行える。また、観光名所となっている「東京スカイツリー」の押上駅へ直結していること、更には羽田空港と成田空港へも直結していることから需要拡大も行える。

※ポスター一画像



■成果

地下鉄車内ポスター掲示を見た乗客から本事業への問い合わせや移住に関する相談があり、「来年開催されたら参加したい」「コロナが落ち着いたら霧島市に行ってみたい」という声を頂いた。

2. (株) 鹿児島建設新聞

総合住宅情報誌（県内向け）「SU・MI・KA」への霧島市移住定住情報、
市分譲地販売情報広告 5万5千円

- ・種類 カラー1頁 A4サイズ 発行部数1万部
- ・時期 2021年4月末発行24号

※広告 画像

あなたの望む暮らしがここに
あります

鹿児島県の中心に位置し、空陸のある霧島市。
ほどよく都会で、ほどよく自然。
シェアライフもスローライフも
あなたの望みのままです。

鹿児島県
霧島市

＋α

移住で最大50万円!
～お得な補助制度あります～

霧島市に転入された方、霧島市の分譲地から中山間地域へ転居された方が、住宅の整備、購入、増改築をされるに最大30万円の補助が受けられます。（建築費あり）

補助金の種類	補助金の額		
	取得済分譲地	中山間地域	中山間地域
住宅取得補助金	50万円	—	50万円
住宅取得補助金	30万円	10万円	30万円
住宅取得補助金	20万円	10万円	20万円
住宅取得補助金	24万円	—	24万円

詳しくは霧島市役所までお問い合わせください。
お問い合わせ先

【中山間地域の分譲地情報】

分譲地名(分譲地)	戸数	面積(㎡)1戸あたり
美田町分譲地(美田町)	17	294.85㎡ 35,048.00㎡
丸山分譲地(丸山町)	12	286.22㎡ 3,437.75㎡
赤木分譲地(赤木町)	3	378.78㎡ 1,136.34㎡
新2区分譲地(新2区)	4	359.24㎡ 1,436.96㎡
牧野町分譲地(牧野町)	3	268.62㎡ 805.86㎡
本郷町分譲地(本郷町)	1	304.84㎡ 3,048.40㎡
行徳町分譲地(行徳町)	2	304.82㎡ 6,096.40㎡
戸島分譲地(戸島町)	1	304.84㎡ 3,048.40㎡

【問い合わせ先】
〒899-4384 鹿児島県霧島市分譲地中央三丁目45-4 TEL 0995-45-5111
霧島市 地域政策課 中山間地域活性化グループ (内線 1543、1544)

■成果

総合住宅情報誌に霧島市移住定住情報（補助制度）、市分譲地販売情報を掲載することにより、移住希望者に対し広くPRすることができた。

●実績

委託料 66万円

1. オンライン移住ツアー 22万円

- ・ 期日 令和3年11月3日（水・祝）
- ・ 概要 本市を「山エリア」と「海エリア」に分け、それぞれの魅力を実際の移住者がリポーターとなり配信
- ・ 参加者 31組39名 うち 移住者1組2名

- ・ 契約年月日 令和3年7月1日
- ・ 契約相手方 合同会社 hataori
- ・ 委託の期間 令和3年7月1日～令和4年3月31日

※チラシ 画像

**移住者が感じた
霧島の魅力**
ご案内します
鹿児島県霧島市
オンライン移住ツアー

霧島市は、自然・温泉・豊富な食材など魅力ある地域資源であふれています。また、空港・高速道路もあり、都市部からのアクセスもとても優れています。今回のオンラインツアーでは、霧島市を「山エリア（牧園地区）」と「海エリア（福山地区）」に分け、それぞれの魅力を余すところなくお届けします。

スタッフ

メインリポーター：白水梨恵さん
2013年に鹿児島へUターン後、2017年に霧島市横川町へ移住。霧島市と鹿児島市を中心に地域づくりを行いながらカフェ＆ゲストハウス横川 kito を運営。そのほか、ライターとしても活動する3児の母。

「山エリア（牧園地区）」リポーター：和田新さん
2018年に神奈川県からUターン。「心の故郷を守っていく」を理念に農業と地域活動に取り組む。昨年より地域の方々とともに築45年の空き家改修をスタート。牧園の魅力、暮らしぶりを伝えるべく奮闘中。

「海エリア（福山地区）」リポーター：高山元気さん
2018年に東京から地元鹿児島市へUターン後、2020年に鹿児島市から霧島市福山町へ移住。今年6月に廃プラスチックを再利用したもののつくりの会社を設立、運営中。

プログラム（2時間程度）

- 1 オープニング
①移住体験住宅わっこ（牧園地区）
- 2 「山エリア（牧園地区）」ツアー
- 3 「海エリア（福山地区）」ツアー
- 4 クロージング

2021.11.3（水・祝） 10:00-（2時間程度）
「ZOOM」によるオンライン開催：参加無料

お申し込み締め切り 10/29（金）

申込方法 ①参加人数 ②代表者氏名 ③年齢 ④お住まいの市区町村 ⑤お電話番号 をご入力の上、下記のアドレス宛にメールを送信いただくか、お電話にてお申し込みください。
視聴用 URL は開催日の前日までに、お申し込みいただいたメールアドレスにお送りいたします。

申込・問い合わせ MAIL: t-seisaku@city-kirishima.jp TEL: 0905-45-5111 担当: 松元、貴島
〒890-4304 鹿児島県霧島市国分中央3丁目45-1 霧島市役所 地域政策課 中山間地域活性化グループ

主催: 霧島市 後援: NPO法人ふるさと回帰支援センター

詳しくはこちら

■成果

初開催した「霧島市オンライン移住ツアー」は日本のみならず海外からの参加もあり、参加者からは、「オンラインではあったが、実際に行った気分になった」「このイベントをきっかけに移住を決断した」といった声もあり、大変好評を得る企画となった。

2. 移住ガイドブック作製 44万円

本市へ実際に移住し起業・就農した方の生活ぶりを紹介する移住ガイドブックを作製し、本市の優れた生活環境をPRすることで、移住定住の促進を図る。

- ・ 契約年月日 令和3年6月23日
- ・ 契約の相手方 斯文堂株式会社
- ・ 委託の期間 令和3年6月23日～令和4年3月31日

※ガイドブック表紙 画像



■成果

平成29年度に作製した移住ガイドブックを、4年ぶりに一新。移住者9組の生活ぶりを、就業や子育て、リモートワークなどのテーマごとに紹介し、市の概要や支援制度のみでなく移住者の生の声として伝えることで、魅力的な移住者が集うまちとしてPRすることができた。本ガイドブックを今後も積極的に活用し、移住定住の促進に繋げたい。

移住定住促進イベント等参加事業

●事業概要

この事業は、東京、大阪を中心に行われる移住交流のイベントに参加し、来場者に霧島市の魅力を積極的にPRするとともに、移住希望者への相談対応を通じ、本市の将来的な移住定住に繋げるものである。

●実績

使用料及び賃借料 20万9千円

移住関連イベント（東京・大阪）会場使用料

1. JOIN 移住・交流&地域おこしフェア 2021autumn ブース出展料 9万9千円

期日 令和3年10月2日（土）

場所 東京都新宿区

※コロナ感染拡大防止のため出展取りやめ

199 団体出展

2. ふるさと回帰フェア 2021 ブース出展料 11万円

期日 令和3年10月17日（日）

場所 国際フォーラム

相談者 24組 28名

220 団体出展

■成果

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、出展を取りやめたイベントもあったが、参加したイベントでは移住希望者への相談を通じ、本市の魅力をPRすることで移住定住の促進に繋げることができた。